

【報道関係者各位】

2025 年 6 月 10 日

くらしの植物苑 特別企画
季節の伝統植物

伝統の朝顔



2025 年

8 月 6 日(水)～8 月 31 日(日)

早朝開苑日 8 月 11 日(月・祝)～8 月 17 日(日)

国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑 (千葉県佐倉市)

このたび、国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑におきまして、2025 年 8 月 6 日(水)～ 8 月 31 日(日)の期間、特別企画 季節の伝統植物「伝統の朝顔」を開催します。

夏の風物詩としておなじみの朝顔。当苑では、江戸時代以降に作り出されてきた、朝顔とは思えない変わった花形や葉形の「変化朝顔 (へんかあさがお)」を、約 100 系統、約 700 鉢展示します。

また今年は、「幕末の変化朝顔」をテーマとし、幕末に刊行された朝顔図譜『朝顔三十六花撰』『三都一朝』『朝閑々美 (かがみ)』などについてパネルで紹介します。

江戸時代から楽しまれてきた「えっ！これが朝顔？」と思える変化朝顔の世界をご堪能ください。

つきましては、この展示開催を貴媒体にてぜひ多くの方々にご紹介くださいますようお願い申し上げます。

「伝統の朝顔」展示解説会のご案内

8 月 6 日(水) 11:00 ～ くらしの植物苑にて開催

当展示プロジェクト委員による展示解説を行います。事前予約等は必要ございません。
お名刺をご持参の上、受付で腕章をお受け取りになり、ご入苑ください。

詳細につきましては下記【このリリースに関するお問い合わせ】までご連絡ください。
※関連イベントが変更・中止される場合があります。最新の情報は、ホームページ等でご確認ください。



国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑は、
2025 年、開苑 30 周年を迎えます。
毎年、開苑記念日として 9 月 14 日は入苑無料です。
ぜひお越しください！

【このリリースに関するお問い合わせ】

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館 広報課 広報・普及係 石渡・田川・高木
〒285-8502 千葉県佐倉市城内町 117

TEL 043-486-6488 (直通), FAX 043-486-4941, E-mail: koho@ml.rekihaku.ac.jp

れきはくホームページ <https://www.rekihaku.ac.jp> (※週 2 回更新、最新情報はこちらをご覧ください)

※内容は変更する場合があります。ご了承ください。

趣 旨

朝顔は古くから多くの人々に親しまれてきました。江戸時代以降、文化・文政期、嘉永・安政期、明治・大正期など、繰り返し朝顔ブームが訪れ、変化朝顔とよばれる、朝顔に見えないような多様な形の花と葉を持つ朝顔が創り出されてきました。朝顔は一年草であるにも関わらず、種子を結ばない変異も種子によって維持してきたことは世界的に見ても特異なもので、幕末の嘉永・安政期にはきわめて多くの品種が創り出されていたようです。

しかし、大正期以降、現在でも広く栽培されている大輪朝顔の栽培が盛んになる一方、変化朝顔の愛好家は次第に減少し、第二次世界大戦後の変化朝顔はわずか数名の愛好家によって維持される状況になりました。幸いなことに、江戸時代に起源を持つ変化朝顔の変異の多くは、愛好家や研究者の努力によって現在まで維持されています。そこで当苑では、江戸時代以降に独創的な知識と技術を駆使してつくり上げられた伝統の朝顔を広く知り、人と植物との関わりを見ていただけるよう、1999 年以降、歴史資料としてこれらの朝顔を展示してきました。

今回は、「幕末の変化朝顔」をテーマとし、幕末に刊行された朝顔図譜『朝顔三十六花撰』『三都一朝』『朝閑々美（かがみ）』などについてパネルで紹介します。

また、くらしの植物苑内で栽培した鉢植えの朝顔を、ビニルハウス、東屋、よしず展示場で展示します。

主な展示内容

- 変化朝顔 正木系 40 系統、出物系 25 系統
- 明治時代以降の大輪朝顔 25 系統程度
- ヨーロッパ・北米産の近縁の朝顔 10 系統程度

計約 100 系統、約 700 鉢を展示

※生育状況により出展数は変わる場合があります。

★公的機関としては日本最大規模です！

豆知識 - 変化朝顔の名称 -

江戸時代に育まれた園芸植物の中で、変化朝顔には特異な名称がつけられています。第一次ブーム（文化・文政期）の番付表にはその走りが見られますが、第二次ブーム（嘉永・安政期）に基本ができあがります。それは葉の色・模様・質・形・茎の形、花の色・模様・花弁・咲き方・花弁の重ねを順番に記述し、必要に応じて付加してゆく命名法で、現在の遺伝学から見ても非常に理にかなったものです。

たとえば「青水晶斑入弱渦柳葉淡藤爪覆輪采咲牡丹」を見てみましょう。まず始めに、葉についての記述です。青（葉の色）・水晶斑入（模様）・弱渦（質）・柳葉（形）に分解できますが、これは青葉の水晶斑入で、「渦」と「柳」の突然変異が入った葉であることを示しています。次に、花についての記述です。葉の記述と同様に、淡藤（花の色）・爪覆輪（模様）・采咲牡丹（咲き方）に分解できますが、淡藤の地に覆輪が入った花色で、撫子のような花弁で、采咲という細かく切れた咲き方であることを示しています。



左：青水晶斑入弱渦柳葉
右：青水晶斑入弱渦葉（葉）



淡藤爪覆輪采咲牡丹（花）

概 要

※内容は変更になる場合があります。

企 画 名 称	くらしの植物苑特別企画 季節の伝統植物 「伝統の朝顔」
主 催	大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館
会 場	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑 〒285-8502 千葉県佐倉市城内町 117
開 催 期 間	2025 年 8 月 6 日（水）～ 8 月 31 日（日） ※苑内メンテナンス・悪天候等、諸般の理由により、開苑日・開苑時間等の変更、 各種催し物を延期または中止する場合があります。 最新の情報は館のホームページ及び SNS でご確認ください。
休 苑 日	8 月 18 日（月）・25 日（月）
開 苑 時 間	9：30～16：30（入苑は 16：00 まで） ※開花の特性上、午前中の早い時間が見ごろです。 なお、 8 月 11 日（月・祝）～ 17 日（日）は 8：30 から開苑いたします。
料 金	個人 100 円、団体 50 円 ※高校生以下は入苑無料です。 ※団体は 20 名以上です。 ※障がい者手帳等保持者は手帳等提示により、介助者と共に入苑無料。 ※博物館の総合展示は別途料金がかかります。 ※博物館の半券の提示で、当日に限りくらしの植物苑にご入場できます。 また、植物苑の半券の提示で、当日に限り博物館の入館料が割引になります。
お 問 い 合 わ せ	ハローダイヤル 050-5541-8600
公 式 サ イ ト	https://www.rekihaku.ac.jp
国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑（佐倉中学校となり） くらしの植物苑は、生活文化を支えてきた植物を系統的に植栽し、その理解をより深めることを目的として、博物館の南東に位置する旧佐倉城の一面に開設された自然を生かした植物苑です。 特別企画に加え、「くらしの植物苑観察会」なども開催しています。 	

広報画像の提供について

ご希望の写真を送付いたしますので、プレスリリースの画像番号をご連絡ください。

画像（JPEG）はメールで送信いたします。

問い合わせ先は本リリース 1 ページ目の【このリリースに関するお問い合わせ】をご覧ください。

＜広報画像使用に際しての注意事項＞

- 本特別企画広報目的でのご使用に限ります。（展示期間終了まで）
- 展覧会名、会期、会場名、掲載図版のキャプションを必ず掲載してください。
- 資料画像は全図で使用してください。文字を重ねるなど画像の加工・改変はできません。
部分使用については事前申請・許諾が必要です。
- Web 上に掲載する場合は、72dpi 以下の解像度になしてください。
- 転載、再放送など2次使用をされる場合には、別途申請いただきますようお願いいたします。
- 基本情報、図版使用の確認のため、校正紙（Web上の場合は掲載URL）をお送りください。
- 掲載、放送後は必ず、掲載誌（もしくは掲載面PDF）、同録DVDを、1 部お送り願います。

広報画像リストは次のページをご確認ください。

1) 展示風景（東屋）	2) 展示風景（ハウス）	
		
3) 黄蟬葉栗皮茶丸咲大輪（団十郎）	4) 青斑入蟬葉藤紫砂子覆輪丸咲大輪（銀麗）	5) 青斑入桔梗渦葉白地赤吹掛絞桔梗咲
		
6) 青水晶斑入立田葉白地紫時雨絞切咲（咲分）	7) 青縮緬立田葉白筒紅台咲牡丹	8) 青縮緬立田雨竜葉紅車咲
		
9) 青林風尾長爪龍葉白管弁流星獅子咲牡丹	10) 黄糸柳葉紅覆輪采咲牡丹	11) 青打込弱渦柳葉青采咲牡丹
		

関連イベントのご案内

【くらしの植物苑観察会】

第 314 回「幕末の変化朝顔」 講師 仁田坂 英二（九州大学大学院）

日 時 8 月 23 日（土） 13:30～15:30

場 所 歴博講堂